

平成30年9月18日

個人情報を含む帳票の紛失・廃棄について

NHK大阪放送局・北大阪営業センター（所在地：豊中市）で、大阪府内の受信契約者の個人情報が含まれる帳票4束の所在が不明となっていることが判明しました。調査の結果、このうちの3束はシュレッダーにより廃棄したことがわかりましたが、残りの1束（426枚）については見つかっておらず、継続して捜しています。

○紛失した帳票 『支払期間指定書』

平成29年 2月 1日～ 9日分 1束（426枚） <未発見>

○廃棄した帳票 『支払期間指定書』

平成29年12月 1日～11日分 1束（734枚）

平成29年12月12日～19日分 1束（448枚）

平成30年 3月12日～21日分 1束（214枚）

○経緯

先月30日、視聴者からの問い合わせを受け、職員が帳票を確認しようとしたところ、居室内の倉庫に保管してあるはずの帳票の束がないことに気づきました。このため、倉庫内のすべての帳票を調べたところ、合計4束（1,822枚）の帳票の所在が不明となっていることが判明しました。

調査の結果、なくなった束のうち、平成29年12月分と平成30年3月分の3束は、職員がシュレッダーにより廃棄したことがわかりました。残る平成29年2月分の1束についてはこれまでのところ見つかっておらず、継続して捜しています。

この帳票は、受信契約者の方と放送受信料のお支払いに関する手続き内容を確認するためのもので、氏名、住所、電話番号、お支払い期間・金額、未収期間が記載されています。対象の方に対しては、明日以降、おわびと経緯のご説明をいたします。なお、現時点で、個人情報を不正に利用されたという連絡はありません。

〔NHKコメント〕

視聴者の皆さまにご迷惑、ご心配をおかけし、お詫びいたします。

個人情報については一層厳格な取り扱いを徹底してまいります。